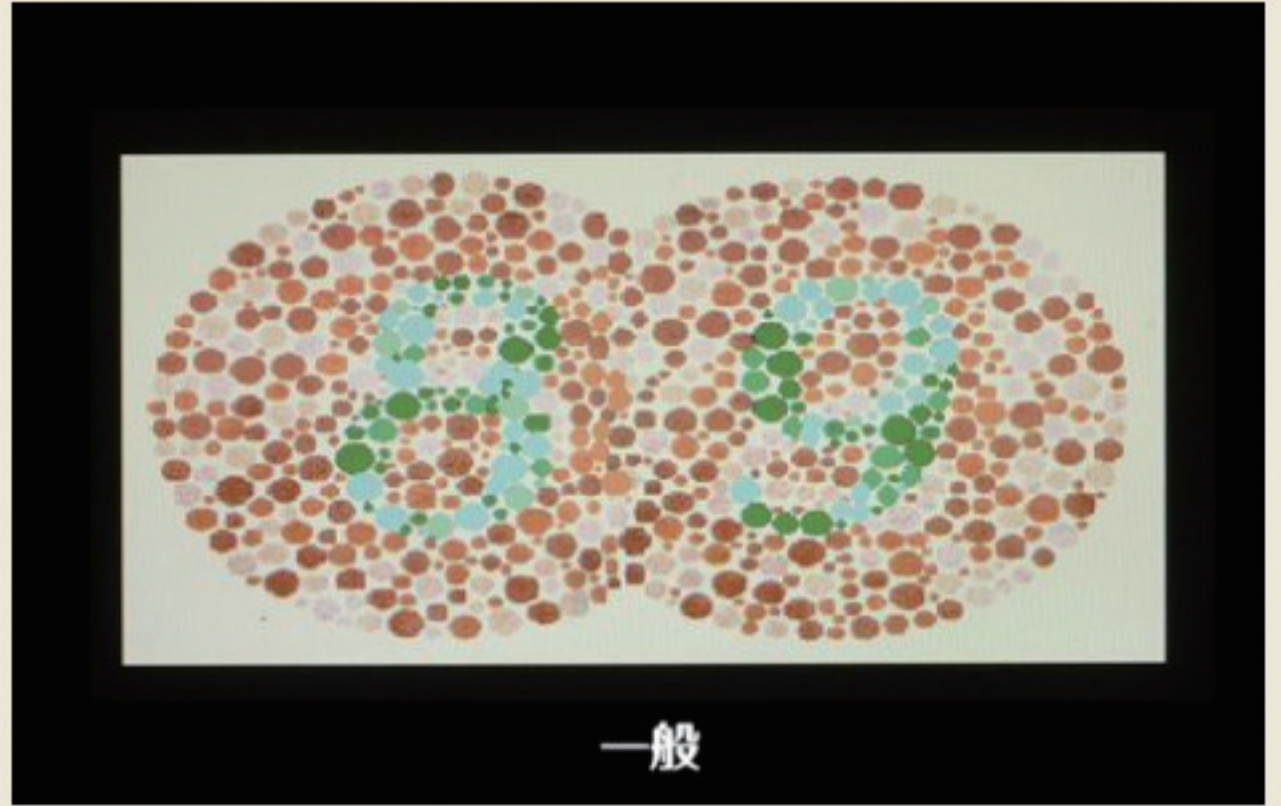


色覚特性（かつての色盲・色弱）の検査・補正方法

一般的に知られてる検査方法

色覚特性（かつての色盲・色弱）は「石原式色覚異常検査表」という検査方法があり、広く国際的にも使われています。カラフルな大小様々な丸で描かれた見えにくい数字を読み上げる方法検査方法で、この検査では、色合いが違ういくつかの絵をみて判断します。例えば、緑が見えにくい人は赤と緑で書かれた数字を読むことが困難となり、どの色に異常があるかがわかります。



お子さまの色覚特性は確認していますか？

大人の方は学校の健康診断で検査され、色覚特性（かつての色盲・色弱）と診断された方もいらっしゃるかもしれません。2003年度以降、色覚検査は定期健康診断の必須項目から削除されたため、現時点では学校などで検査することはありません。

そのため、色覚特性（かつての色盲・色弱）を抱えている子どもの半数以上が、進学や就学の時期を迎えて初めて色覚特性に気が付き、進路を断念したり変更したりするトラブルを経験することも…。



色覚特性は検査・治療で治せるの？

色覚特性は先天性と後天性があります。

先天性の場合、遺伝的なものとなるため現時点では有効な治療法はありません。先天性の場合は年を重ねても色覚特性の程度は変化することはないことがほとんどです。

後天性の場合、緑内障や網膜の病気など、なにかの病気の一つの症状として、色覚に異常が現れます。合わせて視力や視野にも影響が出たりするので、元の病気が治療対象となります。



色覚タイプをチェックしてみましょう

①画面を視線に対して約90度(垂直)にしてチェックしてください。

②画像を必ず上から順番にみてみましょう。

③『89』とはっきり見え始めた画像の下に記載してある番号が、あなたに最も近い色覚タイプパターンです。

※【一般】の画像から『89』がはっきり見えた方は、一般色覚の方です。

※順番を飛ばして見ますと、チェックの結果が適正に出ない場合があります。

※①【一般】 ⇒ ②【A-1】～【A-8】タイプ ⇒

③【B-1】～【B-4】タイプの画像があります。

※必ず最初に①【一般】の画像からご覧下さい。

※このチェックはあくまでも簡易的なものです。詳しくはご相談ください。

